

## まえがき

社会福祉を牽引する人物の4番目に岸本敦さんにご登壇いただきました。岸本さんはこの社会福祉業界では異端児と言われてきました。それだからこそ出演いただくことにしたのです。異端と言われる一つは、経営発想が型破りだからです。従来はこの業界の慣例や常識にとられないことです。二つには、職員に対する厳しい指導の反面、職員が岸本さんから離れていかないのです。それだけでなく、岸本さんのもとで大きく成長していると思えることです。三つには、経営理念の中にサービス利用者に対するホスピタリティを特別に大事に扱っていることです。こうした面を本会顧問で初代理事長の塚口伍喜夫氏から引き出しているただくことを期待しています。岸本さんの経営者像が浮かび上がるときに、その頑固なまでの経営理念が分かってくると思います。さらに付言すれば、岸本さんの右腕である社会福祉法人本部長の森脇恵美さんの存在です。表に出ないで岸本さんの最大のブレーンとして法人の発展に尽くされてきました。そのお考えも見えてくると思います。

岸本さんは、私が社会福祉法人を立ち上げたときの理事にご就任いただきました。若くし

て明確な意見を出され、大いに参考にさせていただいたのを昨日のように憶えています。社会福祉法人経営者にはぜひご一読いただきたいと思います。

令和2年1月吉日

NPO法人福祉サービス経営調査会

理事長 笹山 周作

## はじめに

岸本 敦（社会福祉法人千種会CEO）氏については、社会福祉法人経営者として関係者の中で評価が二分します。その一つは、岸本氏は、本来その対象とすべき「社会の底辺」の人々に焦点を当てていないのではないか、それでは社会福祉といえないのではないかとする、いわば、「古典的」社会福祉観から評価するものです。もう一つは、岸本氏は、従来の社会福祉の概念に捉われず、社会福祉の普遍化と軸を同じくして、今までの概念の殻を破る発想で社会福祉を捉え、進めていこうとする姿勢への評価です。

私は、むしろ後者の、こうした姿勢を新しい芽生えと捉え、その新しい発想を根底にした社会福祉法人の経営をつぶさに見てみたいと考えました。

そして、「異端」の経営者と言われる、その異端とは何なのかも探ってみたいと思いました。この取り上げを企画したNPO法人福祉サービス経営調査会の笹山周作理事長も同様の関心を持たれました。以下それを追ってみます。



社会福祉を牽引する人物④

岸本 敦

—— 異端の経営者と言われながら ——

---

目次

まえがき	1
はじめに	3
第Ⅰ部 対談（一部鼎談）岸本 敦「異端」の経営者と言われながら	9
対談者塚口伍喜夫（NPO法人福祉サービス経営調査会顧問）	
社会福祉経営に関わることになった動機と原点	10
小室豊允先生とのかかわり	12
特養の拡大を図る	16
施設におけるホスピタリティの発揮はノーマライゼーション実現への道	20
経営者は、豊かな人格者であれ	27
職員は職場の宝	31
第Ⅱ部 社会福祉法人千種会職員座談会	35

第Ⅲ部 岸本 敦 論文 .....	79
社会福祉法人の提供するサービスはそのままが良いのか	
『社会福祉法人の今日的使命』平成26年1月、リベルタス・クレオ刊行より	
編集後記 .....	102